

## 退院支援事例⑥

### 精神科開放病棟から在宅へ

うつ病、イレウスに伴う廃用症候群  
60歳代女性

#### 入院に至る経過

約1年前より抑うつ症状が出現し、閉じこもり生活となっていました。イレウスで他院に入院することになり、廃用症状は著しく、寝たきり状態となりました。

当院へ入院後、精神科治療と身体リハビリを同時に実施することで、うつ病の改善と身体機能の向上を認めました。変形性膝関節症による膝の痛みが生じていたため、下肢筋力増強や歩行練習に加え、膝関節に負担のかからない階段昇降や畳上での動作練習を実施しました。

さらに自宅での主婦としての役割を果たすために必要な調理、スーパーへの買い物を想定し、リハビリスタッフによる自宅訪問での環境確認を行い、自宅での動作が可能となった時点で、外出練習も行いました。随時、ご主人への状況報告と想定する在宅生活の情報共有を図り、退院後の生活に向けた準備を整えました。

自宅退院後は、ご主人と一緒にスーパーへ買い物に出かけ、調理や洗濯などの家事も実施されており、ご主人と散歩をされるなど活動的な生活に戻られています。



## 外来診療のご案内

外来受付時間	午前9時～午後12時まで
外来診療時間	午前9時30分～午後12時まで
休診日	日曜日・祝日・ 年末年始（12/29～1/3）

### 内科外来担当医師

赤字は女性医師

リハ外来は予約制

	月	火	水	木	金	土
1診	右原	林	右原	水本	眞島	リハ 外来
2診	神田	大塚	中川	坂本	神田	林

赤字は女性医師

### 精神科外来担当医師

	月	火	水	木	金	土
1診	田原	岸本	平井	井上雄	もの忘れ 外来	当番医
2診	洪	田原	松本	嶋吉	田原	嶋吉
3診	杉山	中井	井上慶	洪	石川	当番医
5診		中島	もの忘れ 外来		西川	こどもの 心

もの忘れ外来、こどもの心（児童思春期）外来は予約制  
(0745-64-2069)

### ～無料シャトルバスのお知らせ～

- 八木方面 ○近鉄 大和八木駅（南側ローソン前）  
 橿原方面 ○近鉄 橿原神宮前駅 西出口  
 ○JR 玉手駅（踏切南側）  
 高田方面 ○近鉄 御所駅（バスロータリー内）  
 ○JR 高田駅（西出口側ロータリー内）  
 ○近鉄 大和高田駅（正面ロータリー前）



無料シャトルバス



時刻表



乗車位置

No.9 2022年2月1日発行

医療法人 鴻池会

# 秋津鴻池病院 ニュース 2

2022 February



秋津鴻池病院

精神科療養病棟の取り組み

退院支援事例 ⑥

▶精神科治療と身体リハビリの協業事例



【お問い合わせ】

秋津鴻池病院 医療相談課（9時～16時30分）

▶ 医療機関 入院相談専用

FAX：0745-64-2078

▶ 当日緊急対応の必要な場合

内線番号1149（9:00～17:15）

〒639-2273

奈良県御所市池之内1064

TEL：0745-63-0601 FAX：0745-62-1092



# 生きがい



園芸を通じて「役割」「価値観」を育む様子

病棟菜園での作物の成長を体験し、季節感や楽しみを感じ、やすらぎの空間を提供しています。活動を通して、ご本人の意思を尊重し、役割を担うことで、生活の中に彩りや感情の潤いと変化をもたらします。

# つながり



Zoomで他施設利用者で交流する様子

ピアサポートの支援として、他事業所の入所者と、オンラインでの交流会をしています（感染症考慮）。グループホームの施設紹介や個人の自己紹介を通して、院外での生活や社会資源を知り、学ぶ機会を設けています。

## 精神科 療養病棟の取り組み

～地域で暮らすための自立支援～

退院後の自立した生活を目標に、精神科作業療法士と協働し野菜作りや料理、自己服薬の確立などを通して、地域生活への移行がスムーズにできるよう、退院支援を行っています。また、家族教室を開催し、退院後生活の気かりなこと等、さまざまな相談に応じています。

# 健康



腕と指先の体操（雨の御堂筋）  
身体機能の評価と廃用予防の取り組みの様子

健康を促進するため、さまざまな運動機会を設けています。また、身体機能面の評価や転倒予防の取り組みとして、身体障害領域の理学療法士らと共に安全な移動形態の評価やリハビリテーション支援を行っています。

# 暮らし



久しぶりのエスカレーターに緊張の面持ち

「地域でくらす」前段階として、自身で感染症予防をしながら、御所市コミュニティバスの利用や商業施設での買い物を経験し、地域での生活イメージの構築につながる「計画」「実行」「振り返り」の支援をしています。